

平成 25年春の叙勲・褒章が 発表され、消防分野で、その進展に  
長年尽くしてきた三原久次さんが受章しました。

# 春の叙勲



## 瑞宝単光章

みはら きゆうじ  
**三原 久次**さん  
(71 歳・二所宮)

昭和48年6月に志賀町消防団に入団し、34年10カ月間にわたり、志賀町の防災に尽力してきた三原さん。下甘田分団団長、志賀町消防団副団長、団長を歴任し、平成20年3月まで地域住民の生命や財産の保護に努め、消防組織の強化や後継者の育成など、志賀町消防団の発展に寄与しました。

三原さんは、消防団員の安全が最優先と考え、災害現場では「自分の安全を確保し、災害に立ち向かえ」と団長・分団長時に指揮しました。

今回の受章について「長年務めることができたのは、消防に携わってくれた人や団員、地域の人、消防団活動を理解してくれた家族のおかげにほかならない。また、健康な体でいたからこそ長年務めることができた。丈夫な体に産み育ててくれた両親にも感謝したい」と喜びの念を話しました。

## 『志賀町あんしんネット』を利用してみませんか？

「志賀町あんしんネット」は、IP音声告知端末の通知ボタンを押すと、あらかじめ登録された連絡先（パソコン、携帯電話など最大5件まで）に状況確認依頼の電子メールを送信するサービスです。

### ①通知ボタンを押す。

通知ボタンが点滅し、音声で正しく通知されたことをお知らせします。

### ②最大5件まで電子メールが送信されます。

### ③メール受信後、状況を確認してください。

利用はとても簡単♪

「志賀町あんしんネット利用申請書」  
で申込みするだけ！  
登録は無料です！！

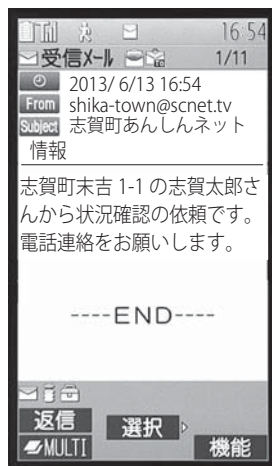
急に調子が悪く  
なった…  
連絡して欲しい！



通知ランプ  
(通知ボタン)



あっ！  
おじいちゃんが  
通知ボタンを  
押しているわ。  
電話してみよう！



☎ 情報推進課 ☎ 32-9261・32-9999

## 保育園・幼稚園・学校での取り組み

### ～野菜の栽培・観察・収穫体験～

園の畑や地元農家の畑を借りながら、夏野菜やサツマイモなどを育て、採れた野菜でクッキングをしています。

生産者と園児の交流が20年続いている園もあります。収穫の喜びを味わうだけでなく、地域の人との交流も楽しみにしています。



「食育月間」「食育の日」は、国の食育基本計画で定められ、各地でさまざまな食育の普及啓発活動を展開しています。食育の主役は皆さん一人一人です。日々の食について考え、できることから実践してみましょよう。

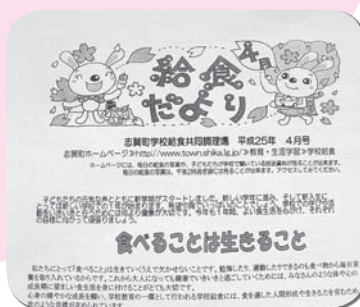
### ～楽しく学ぼう「栄養教室」～

紙芝居やゲームを通して、幼児期に身につけたい食習慣を伝えています。



### ～給食時間に進める食育～

給食の時間に、「今日の〇〇は志賀町産です。地元でとれたものは、新鮮でおいしいものばかりですね。作ってくれている人に感謝して食べましょう」など、その日の献立や食材がどのようなものか、児童が校内放送にて呼びかけを行っています。



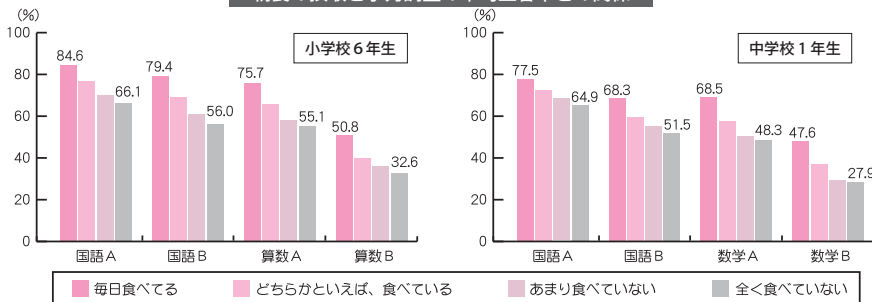
## 朝ごはん 食べていますか?



朝ごはんを抜いて仕事や学校に行ったりすると、イライラしたり、集中できなくて仕事や勉強がはかどらない時ってありませんか? この状態は脳のエネルギーが不足していることが原因です。

脳のエネルギー源となるブドウ糖は、体内にたくさん蓄えておくことができないので、朝ごはんを食べないと、エネルギー不足でイライラしたり、集中力がなくなったりします。文部科学省の調査によると、朝ごはんを毎日食べている子と食べていない子を比較すると、朝ごはんを毎日食べている子の方が成績が良くなっています。朝ごはんは1日のパワーの源! 朝ごはんを食べて、からだを脳を目覚めさせ、1日の活動の準備を整えましょう。

朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係



保健福祉センター 320339

## お料理レシピ

### 今月のレシピ

## キャベツの豚汁



148Kcal  
塩分1.0g  
【1人分】

### ◆作り方

- ① 豚肉、キャベツは一口大に切る。ニンジンも短冊切り、しょうがはすりおろす。ねぎは斜め薄切りにする。
- ② 鍋にごま油を熱し、①のキャベツを入れ炒める。キャベツのかさが減ったら、ニンジン、しょうがを加え、火が通るまでさらに炒める。
- ③ 豚肉を加え、肉の色が変わったら、水を入れる。沸騰したらアクを取り、みそを溶き入れる。

### ◆材料(4人分)

豚ロース肉(薄切り)	150g
キャベツ	1/4個
ニンジン	1/3本
しょうが	少量
ねぎ	1/2本
ごま油	大さじ1/2
水	3カップ
みそ	大さじ2



📍平成25年4月18日の健診分



**「子どもの人権110番」**  
0120-007-110  
(全国共通フリーダイヤル・無料)

◆受付時間  
6月24日(月)～28日(金) 8時30分～19時  
6月29日(土)、30日(日) 10時～17時  
※パソコンでのメール相談は24時間受け付けています。

「いじめ」や体罰、不登校や親による虐待といった、子どもをめぐる人権問題は周囲の目につきにくいところで生じていることが多くあります。被害者である子ども自身も、その被害を外部に訴えるだけの力が未完成であったり、身近に適切に相談できる大人がいなかったりする場合が少なくありません。

「子どもの人権110番」は、このような子どもの発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける相談窓口です。相談は金沢地方事務局において、人権擁護委員または職員が受けめます。相談は無料、秘密厳守で対応します。

**「子どもの人権110番」強化週間について**

志賀町要保護児童  
対策地域協議会だより

## 風しんが流行中！ 妊婦さんは赤ちゃんが危険！

## 日本脳炎の予防接種を受けましょう！

保健福祉センター ☎32-0339

昨年から全国的に風しんが流行していますが、今後も増加が予想されています。20歳代から40歳代の男性に多く発症しており、職場などで集団感染が起きていることが分かりました。国の調査で、20歳代から40歳代の男性の約15%に風しんの免疫がなく、女性の約15%は風しんの免疫がない、または不十分であることが分かっています。

風しんは特異的な治療法がないので、予防接種を受けることが大切です。

抗体を持たない妊娠中の女性が風しんにかかると、「先天性風しん症候群」という生まれつきの難聴や心疾患などの障害を持つ赤ちゃんが産まれる可能性があります。特に妊娠初期だと確率が高くなります。**妊娠を考えている夫婦、妊婦の家族**は、予防接種を受けることを検討してください。

風しんの予防接種を受ける場合は、風しんと同時に麻しんも予防できる、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をお勧めします。

### 麻しん風しん混合ワクチン 定期接種の対象者

- 1期：生後1歳以上2歳未満
- 2期：小学校就学前の1年間（年長児）



※上記以外の年齢で接種を受ける場合は、任意接種となり、自己負担となります。

日本脳炎は、蚊に刺されることでうつる病気です。刺されても症状が出ない人がほとんどですが、発症すると2割から4割が死亡し、命を取りとめても運動障害などの重い後遺症を残すことが多い怖い病気です。ワクチンで予防できるので、接種をしていない人は予防接種を受けましょう。

日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例があったことで、平成17年度から平成21年度まで、接種対象者への案内がされませんでした。現在は、新たなワクチンが開発され、通常通り受けられるようになっていきます。

平成7年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた人で、予防接種の機会を逃した人は、早めに接種を受けましょう。希望する人は、接種券を交付しますので、母子健康手帳を持って、保健福祉センターへ来てください。

### 日本脳炎 通常の定期接種の対象者

- 第1期：初回接種（2回）  
生後6カ月以上90カ月未満  
(標準3歳)
- 追加接種（1回）  
初回接種後おおむね1年後  
(標準4歳)
- 第2期：9歳以上13歳未満(標準9歳)



## 「HIV(エイズ)検査」のご案内

能登中部保健福祉センター 健康推進課 ☎0767-53-2482

エイズとはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して、免疫が低下することでさまざまな症状があらわれる病気です。主に性行為などにより感染し、握手やお風呂など日常の接触では感染しません。

HIVを完全に治す治療法は今のところありませんが、進行を抑える治療ができるので、早期発見・早期治療で社会生活を送ることができます。感染に不安がある人は検査を受けましょう。検査は、**要予約、匿名、無料**です。検査結果は、約10日後に来所で伝えます。

能登中部保健福祉センター（七尾市府中町）  
☎ 0767-53-2482

羽咋地域センター（羽咋市石野町）  
☎ 0767-22-1170

毎週月曜日 9時～11時30分（要予約）

※第1月曜日は、約1時間で結果が分かる迅速検査を行います。

※第2月曜日は、19時まで検査が受けられます。

毎月第2月曜日 9時～11時30分（要予約）



記念講演では、正しい姿勢での挨拶や笑顔の練習に参加



新社会人を代表して決意を述べる伊勢さん（右）

新社会人歓迎の集い

## 志賀町で地域貢献を誓う

4月18日（木）にいこいの村能登半島で「新社会人歓迎の集い」が開催されました。志賀町商工会と富来商工会の主催で、町内26事業所から新規就職者52人のうち41人が出席しました。

式典では、小泉町長が「社会人として目標を持ち、自分はどう行動すべきか常に意識することが自分を成長させる」と激励し、新社会人を代表して伊勢大成さん（株ノトアロイ）が「社会と会社に貢献していくことが恩返しと思い、頑張りたい」とお礼の言葉を述べました。

式典後には、人材育成プロデューサーの山田容子さんが「社会人としての心構え」と題して記念講演を行いました。「あいさつや返事、時間を守るなど、当たり前のことを当たり前に行えるように」との指導で、社会人としての基本的なマナーを身につけ意識を高めました。

広覚寺で手紙や色紙展示

## グラフィックデザイナー栗津潔回顧展

日本を代表するグラフィックデザイナー、栗津潔さん（1929～2009年）の回顧展が4月27日（土）から29日（月）の期間、栗津さんの父の生家である広覚寺（里本江）で開かれました。生前に親交のあったこの栗津啓有住職が、所蔵品の色紙やポスター画、手紙などを公開しました。

東京出身の栗津さんは、映画や舞台ポスター制作、大阪万博の設計など幅広く活躍し、国内外で数多くの受賞歴があります。特に父の故郷を大切に想い、旧富来町のロゴマークや富来トンネルの入り口の虹の壁面も手掛けました。

この回顧展は栗津さんの命日に合わせ「偉大なデザイナーの足跡を知ってほしい」との思いで開かれました。



栗津潔さんが制作したポスター画や色紙、手紙などの数々



民生児童委員に苗の植え方を教わる2年生の児童

教えて！畑の先生！！

## 土田小学校野菜の苗植え

5月14日（火）と15日（水）の2日間、土田小学校の全児童が地元の民生児童委員8人に教わって野菜の苗を植えました。児童はシャベルや手を使い学校の園庭にミニトマトやキュウリ、サツマイモの苗などを植えました。

委員から「サツマイモは風下に寝かせて植えて、日よけにアテの葉をかぶせてあげましょう」と優しく教わりながら、交流を楽しみました。

水やりなどの世話は生徒たちで行い、夏から秋にかけての収穫を心待ちにしています。取れた野菜は学校で味わったり、自宅に持ち帰ったりする予定です。

堀松小学校読書の質向上に意欲

## 読書活動優秀校で大臣表彰

読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けた堀松小学校の山本正美校長と読書推進担当の土田雅代教諭が、4月26日(金)に役場を訪れ、穴田教育長に報告しました。

昨年、県教育委員会の読書活動推進モデル校に指定され、親子が同じ本を読んで感想を交換する「親子往復書簡」や、学年ごとに読書の目標冊数を設けて達成者を表彰する取り組みを行いました。山本校長は「読書は人生の基盤になる。さまざまな種類の本を読み、本と本当の出会いをしてほしい。今後は読書の質の向上も図りたい」と語りました。



受賞を報告する山本校長(中央)と土田教諭(左)



避難場所に来る富来領家町区の区民

富来領家町全世帯対象に防災訓練

## 防災意識の向上と避難路の確認

5月12日(日)富来領家町区は、全323世帯を対象に、初の防災訓練を行いました。能登半島地震や東日本大震災を教訓に防災意識の向上と避難路や役員の役割確認が目的で行われ、IP告知端末で避難を呼びかけました。大津波警報が発令されたという想定で、全区民834人のうち364人が、4カ所の避難場所に各自避難しました。

非常食や懐中電灯、医薬品などが入った非常持出袋を持ち出して参加した区民は「避難訓練は大変良いこと。訓練しておけば、いざという時に助かる。また来年もあれば参加したい」と話し、防災意識を高めました。

富来山野草愛好会・とぎ絵の会主催

## 草花や絵画・春の合同展

5月3日(金)から5日(日)の3日間、富来活性化センターで、とぎ絵の会と富来山野草愛好会による「第32回春の合同展」が行われました。

会場は、鉢植えで育てた春の草花や絵画が数多く展示されました。

丸い餅に似た白い花が目立つユキモチソウ、紫褐色のまだらな模様がマムシに似たマムシグサ、袋状の花弁が特徴的なクマガイソウなど、バラエティにとんだ草花が並び、訪れた人たちは見入っていました。



ユキモチソウやマムシグサなど個性豊かな草花が並ぶ展示会場

新嘗祭に向け豊作願う

## 矢駄で献穀田植式

5月17日(金)、新米を神に供えて豊作を願う宮中行事「新嘗祭」に向けて、献穀米の田植え式が矢駄の水田で行われました。神事後、献穀者の西村秀正さんや地域の住民が見守る中、地元の小学生8人が早乙女姿で登場しました。足をとられながらも、一生懸命水田に入り、後ろ下がりでコシヒカリの苗を丁寧に植えました。

西村さんは「献穀田に選んでいただき大変名誉なことであり、協力関係者に感謝したい。良い米が出来るよう細心の注意を払い頑張りたい」と述べ、豊作を願いました。



御田植式神事の祝詞を読み上げる様子